

令和元年多摩市議会第2回定例会について

1 日程

令和元年6月13日（木）～7月3日（水）（21日間）

行政報告等、施政方針、代表質問、一般質問	6月13,14,17,18,19日（5日）
補正・条例	6月20日（1日）
常任委員会	6月24,25,26,27日（4日）
最終日	7月3日

2 国民健康保険に関する一般質問

橋本由美子議員（日本共産党） 6月17日（月）

市民の健康を守るために…検診・健診のありかたと国保の今後を考える

3 陳情について

国民健康保険税の大幅値上げを抑えるため、国に「公費負担増を求める意見書提出」を求める陳情

健康福祉常任委員会……趣旨採択すべきもの

本会議……採択すべきもの

4 橋本由美子議員の一般質問に対する市長答弁

①【質問1】

がん検診に関する医師会との検討状況、自己負担増の動き、受診率アップの具体策について伺う。特定健診の受診率を高めるための対策についての今後の具体策についても伺う。

【市長答弁】

医師会とのがん検診検討会は、昨年5月に第1回目を開催し、まずは、がん検診における受診率及び精密検査受診率の向上は精度管理に関する話し合いを進めていくことを確認するとともに、今後、時期は未定ですが、自己負担についても、協議を開始することとしました。

がん検診受診率アップの具体策としては、集団のがん検診の申し込みを公式ホームページからインターネット手続きで電子申請を行えるようにするとともに、女性特有のがん、世代別のがん対策について、国立がん研究センターが、行動科学やソーシャルマーケティング手法により開発・作成したリーフレット及び再勧奨用のはがきを利用した取組を進めます。

また、特定健診の受診勧奨については、特定健診未受診者の健康意識などのデータを分析し、受診勧奨への感度が異なるグループに分類し、受診勧奨通知を行うという、新たな取組により、受診率向上を図っていきたいと考えています。

がん検診、特定健診については、今後の受診希望者、未受診者の傾向や動向をしっかりと踏まえて、取り組んでいきます。

②【質問2】

今年度は結果的に2.79%の国保税の引上げとなりましたが、次年度の保険税引上げについてはどのように考えているのか伺う。

【質問3】

国が検討を進めようとしている「都道府県」ごとの国保税(率)統一化の動きは、住民生活を守る自治体の努力を奪うものになりかねません。市の考えを伺う。

【質問4】

均等割は家族数に応じたものであり、子どもの多い家庭、扶養家族が多い家庭ほ

ど国保税負担が大きくなる矛盾があります。前回の質問において市は、「多子世帯、子育て世帯への軽減策は重要であり国に要請していく」と答弁されています。この間どのようなかたちで要請されたのか、その反応はどうだったのか、制度的な低所得世帯への軽減以外の市独自の軽減策についてどう考えているのかお聞きする。

【市長答弁】

質問2について。現在、多摩市国民健康保険では、「第2期多摩市国民健康保険の運営に関する指針」に基づき、保険者機能強化に向けた取組を進めているところです。

保険税率の改定については、国保事業費納付金の増加、国、東京都からの激変緩和措置が段階的に削減されていく中で、第2期国保運営指針に定める対前年度比4%増としていくことが基本であると考えています。

しかし、実際の改定率については、多摩市国民健康保険運営協議会において、社会保険の領域の広がり、国民健康保険の加入者が減少していることなど、社会情勢等の変化も勘案しながら議論していただくことになると考えています。

質問3について。国保の保険料水準統一については、国が示す国保事業費納付金等算定ガイドラインにおいて、将来的には、都道府県内での保険料水準の統一を目指すとされています。

都道府県内統一の保険料水準とすることは、給付と負担の公平性の観点から、平準化が図られる点で望ましいと考えます。

一方、保険料水準を統一するためには、医療費水準の平準化や、所得水準、収納率の格差、赤字繰入の解消、保険料算定方式の統一など、様々な課題を整理する必要があります。

このため、保険料水準統一の検討にあたっては、それらの課題解決に向け、東京都及び各市区町村が十分に議論し、合意形成を図ることが最も重要であると考えています。

質問4について。多子世帯の均等割軽減については、平成31年度予算編成に対する要望事項として、東京都市長会及び全国市長会から、子育て世代の負担軽減策として、均等割額軽減などの実施について要望してきましたが、現時点で国の見解は示されていません。

本市独自の軽減策の実施については、法的課題、財政的課題などがある中で、国や他市の動向、他の子育て支援策なども踏まえた上で、今後検討していきたいと考えています。